






## 8. 評価段階

		ポイント	該当ページ										
1	次回実施のための改善案検討	1 来場者アンケートを実施してみよう	63	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		2 うまくいった点とそうではなかった点を把握する	63	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	ごみ削減量計算	1 ごみはどのくらい減らしましたか？	64	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	コストを下げる方法	1 コストを下げる方法	65	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

### 8. 1. 次回実施のための改善案検討

#### ポイント

1. 来場者アンケートを実施してみよう
2. うまくいった点とそうではなかった点を把握する

#### 1. 来場者アンケートを実施してみよう



##### ▽継続的な取り組みに向けて

イベント参加者にはぜひアンケートを行いましょ。利用者の立場から見た評価を受けられますし、次の機会への反省点も把握できます。これまでに実施されたアンケート内容は下記のとおりです。その他にもそれぞれの会場に特化した形で設問を設けるとよいでしょう。

- ・ リユース食器制度について賛成ですか・反対ですか？
- ・ カップ等の回収場所はすぐに分かりましたか？
- ・ 回収率を高めるためにはどうしたらいいと思いますか？
- ・ 食器を返却せず持ち帰ったことはありますか？（継続的なイベントの場合）
- ・ 持ち帰った理由は何ですか？
- ・ 持ち帰った食器はその後どうしましたか？
- ・ 今後も協力していただけますか？

#### 2. うまくいった点とそうではなかった点を把握する



##### ▽ふり返りのコツ

イベントが終了したら、リユース食器全体の「ふり回り」（ステップアップのための評価）を全体で行いましょう。その際には次の視点があるといいでしょう。

- ・ 関係者の反応の発表・共有
- ・ 利用者の反応（アンケート結果等をもとに）の発表・共有
- ・ 回収率発表
- ・ ごみ削減の効果の発表（導入前に実態調査をすると比較が容易です）
- ・ リユース食器の費用について
- ・ 改善点（①食器関連②回収方法関連③洗浄関連④その他）

## 8. 2. ごみ削減量計算

ポイント

### 1. ごみはどのくらい減らしましたか？

#### 1. ごみはどのくらい減らしましたか？



##### ▽脱・ごみイベントの結果発表

ある音楽イベントではリユース食器を用いることでごみとして捨てられる1万8000個の紙コップをなくしたことがあります。皆さんのイベントでは、リユース食器導入前と比べてごみの量はどの程度減らしましたか？リユース食器ののべ利用回数に使い捨て容器1個あたりの重さをかけて、どの程度のごみが削減できたのか計算してみましょう。

## 8. 3. 収支決算

ポイント

### 1. コストを下げる方法

#### 1. コストを下げる方法



##### ▽結果をもとに協賛企業を探そう

全体の経費のうち、コスト面で減らせるところがないか点検してみましょう。収入面を増加させるため、実施結果をもって地元企業を回るということも考えられます。アンケート結果や利用者の声、ごみの削減量などがあると説得力があがります。

## 9. 第2部のまとめ～リユース食器利用のまとめ～

- ・ リユース食器は自前準備またはレンタルでも利用可能
- ・ 使用する食器は場所や利用者に応じた物を選択
- ・ 動線を考えた回収場所の設置が必要
- ・ デポジット制やその他の方法で回収率向上を図ろう
- ・ 衛生管理の基本を押さえよう
- ・ リユース食器導入後は評価を行おう

## おわりに

本マニュアル作成にあたり、「平成 18 年度循環資源のリユースに関する検討委員会」にて検討頂きました。

### ◎平成 18 年度循環資源のリユースに関する検討委員会・委員名簿

環境ジャーナリスト、中央環境審議会委員、環境カウンセラー	崎田裕子氏（座長）
3 R 活動推進フォーラム理事	庄司元氏
京都女子大学現代社会学部教授	榎村久子氏
千里金蘭大学 情報社会学科教授・リサイクル経済研究所代表	吉村哲彦氏
4 万人のごみゼロプロジェクトメンバー、環境カウンセラー	永澤由紀子氏
国際青年環境 NGO A SEED JAPAN 理事	羽仁カンタ氏
愛宕商事株式会社環境事業部長	谷口洋和氏
横浜市資源循環局事業系対策課長	榛澤俊成氏
仙台市環境局リサイクル推進課長	志賀野祥二氏
(社)東京都食品衛生協会食品衛生コンサルタント部技術主幹	菊地界善氏
オブザーバー：環境省廃棄物・リサイクル対策部企画課 循環型社会推進室	
事務局：株式会社ダイナックス都市環境研究所	

また、Bear's Farm（新潟）、新潟ガラスリサイクルセンター（新潟）、新潟県環境保全事業団（新潟）、愛宕商事株式会社（新潟）、財団法人 地球・人間環境フォーラム（東京）、A SEED JAPAN（東京）、新宿 RUIDO K4（ライブハウス・東京）、エムサービス株式会社（東京）、スペースふう（山梨）、NPO 地域環境デザイン研究所 ecotone（京都）には、貴重な時間を頂いて聞き取り調査を実施し、マニュアル作成にあたっての重要な知見やノウハウの提供を頂きました。

本文中の写真利用については、仙台市、名古屋市、那覇市、Bear's Farm、新潟ガラスリサイクルセンター、株式会社アルビレックス新潟、スペースふう、新宿 RUIDO K4 のご協力を頂きました。